

2020年度 第2回 こむ1会運営委員会議事録

日時場所：2020年10月10日（土）13時30分～16時00分・21A/B会議室

出席者：視力障害者協会（田中）・喜久の会（中田）・個人（村中）・防災リーダー（宮崎）
テープライブラリー（出口）・おあや座（太田）・家族会（篠原）・自然保護協会（東）
三線サークル（横山）・歌楽多笑一座（松崎）・役員（榎本、金子、平山、原）
【オブザーバー】財団（岡本）・ボラセン（沼田）

欠席者：櫻守の会・広域ボラ連・売布まち協・こまどり・おもちゃの診療所・宝塚友の会
個人（細田、油井）・役員（稲田）

書記：東・横山

【報告事項】

・財団より

- 3階フリールームの利用申請および承認採決（運営委員会で判断をする）
 - ・宝塚ワイズメンズクラブ「市民クリスマス練習会および収録」10月31日（土）
採決→出席者の過半数の賛成があったので利用承認
非承認者の意見は、「社会的な課題に取り組む活動（利用要件）を満たす内容とは判断できない（何のためにコンサートをするのか目的が不明）」、「収録映像の視聴先が未定（だれのためにするのか不明）、公開先が限定的（関係者だけに配信）」があった。
 - ・第3地区民生委員児童委員協議会「定例会」11月16日（月）
採決→出席者の全員の賛成があったので利用承認
- 早期予約の申込および承認報告（財団で予約承認の判断をする）
 - ・2021年2月27日（土）：ボラセン「活動助成・登録説明会」について、財団で予約承認しました。
- クッキングルームの冷蔵庫（411L）を交換しました（故障のため）
- 福祉コミュニティプラザへの見学希望がありました
 - ・10月19日（月）：第3地区民児協障害福祉部の研修会→運営委員会より3名で対応
 - ・12月10日（木）：民児連全7地区福祉部代表（9名）→運営委員会より4名で対応
- サーマルカメラ（非接触型の体温計）を、正面玄関に設置しました。体温の入館制限の基準はない、入館時に体温測定をして自己判断してください。
- 室内蛍光灯をLEDに取り換え予定しています

・ボラセンより

- 「ボランティアクラブ」の活動が、9/26、10/24、11/14、12/5で実施予定、小学生8名の参加、ふらぎこむ1で見かけられたら、活動を温かく見守ってください。
- ボランティア活動助成、活動活性費助成の2次募集しています。対象活動：新型コロナウイルスの流行や感染防止対策の影響による課題解決のための活動、対象グループ：ボラセン登録グループ、締切：10月31日（土）。
- 印刷室の利用予約制（コロナの影響による）を一部変更します。室内の配置変更と飛沫拡散防止対策を実施したため、「印刷機の利用時は予約制」。（従来は、印刷室の利用時は予約制としていた）
- 「非接触型の小型体温計」を購入しました、貸出も可能です。
- 「グループ紹介ボード」のパネル配置（解散等で並びに空きスペース）移動したい、掲載内容を再作成したいという要望が、ボラセンにあったので、こむ1会と相談しながら進めたい。

・こむ1会より

1. 会費の徴収状況について

納入:38件(¥27,850円)。未納入のグループには運営委員会より早急の納入を促しの連絡を行う。

2. 「オンライン防災キャンプ」実行委員会より報告

9月12日(土)~13日(日)、ZOOMにて「オンライン防災キャンプ」が開催されました。

3. 社会福祉協議会評議員会への参加報告(こむ1会代表者:榎本)

- ・「スマレン小林介護ステーション」が改築され、サロンとして利用できるようになりました。
- ・「生活応援支援センター」に、コロナによる影響で生活困窮の貸付金や相談が非常に増えている。職員を増員して対応にあたる。

【議題】

・運営委員会等見直しについて

1. 検討作業チームより報告

- ・「本音を聞かせて」アンケートの結果報告。運営委員会が検討している課題について、多くのグループからも同意見(共感できる)であるとわかった。運営委員会や小委員会の活動内容や目的等の仕組みがわからないという声が多くあった。
- ・小委員会と運営委員会があることで組織が複雑になっているようだが、こむ1会の会則では、運営委員会によって「小委員会を設置できる」とあるので、運営委員会だけでこむ1会を運営することも可能である(小委員会を設置しない)と、説明があった。
- ・アンケートからの意見をまとめると、こむ1会の組織を「だれもがわかりやすい内容」にしていく必要があると考える。運営委員会の目的や望ましい姿について、この運営委員会で一緒に考えていきたい(案:「目的」利用者が自主的な運営をすることを促進する、「望ましい姿」わかりやすい、誰もが運営できる仕組み。誰もが集いやすい場所となるために、運営委員会が主体となって目的に必要な事柄を検討、実施していく…など、別紙資料をもとに提案があった)。また、運営委員の選出方法、人数や任期について、さまざまな案をもとに、運営委員会で考えていきたい(案:「選出方法」グループをグルーピングした上で運営委員を選出、グループ番号順に選出…「任期」1年間、15ヵ月…「再任の回数を定める」、「運営委員会への参加者だれでもに議決権を持たせる」など、別紙資料をもとに提案があった)。

2. 検討作業チームの報告や提案をもとに、運営委員の意見を集めた。

- ・運営委員になることへの負担について:回数や内容が多い、こむ1会になってから楽しくない、任期や当たる率、決定を委ねられる責任感や気軽に発言できない感じ(代理出席を頼みづらい)、運営委員会への欠席者が多い、運営委員会は義務と思っているので自分のグループ活動の妨げになっている、運営委員会の定義がわからないこと(ルールがあいまいで心理的に負担)。
- ・任期について:次年度以降も継続すること必要がある活動もあると思う、グループ内での役割分担が1年度単位なので1年程度が望ましい、引き継ぎ期間のある15ヶ月任期はありだと思う。
- ・選出方法について:グルーピングしてから選出するのはおもしろいと思う、セルフヘルプのグループには輪番制は難しいグループも多い。
- ・人数について:人数が多いと運営委員会へ参加しなくてもよいかと思うので15名程度、運営委員会の役目を考えると多くの利用者の声を集めることにあるが運営委員が少ないと多くの活動内容や目的の違う利用者の声(各グループの意見)が反映された運営になるのか、人数は現状の会則(25名)を減らしたくないし変更する必要があるのか。

- ・ 運営委員会の定義がわからない、定義を決めてから人数や選出方法を考えてはどうか。
- ・ こむ1会の運営分担が維持活用小委員会に偏ってしまったから検討の議論が始まったと思うので必要以上に変更するものではないと思う（運営委員の人数等）。
- ・ 任せられれば力を発揮する人はたくさんいるはず、委員を長期間やっているがやらせてもらえるからやっている役目をはっきりさせることで誰もが役目を果たすことができると思う。

3. 検討作業チームの次回会議予定：10月19日（月）13時～15時

以上

※次回の運営委員会は11月10日（火）13時30分～15時30分 場所：？